最終ゴールは、生徒の笑顔

天水中学校便り３号　　令和元年７月１８日　　校長　中村浩二

生徒の活躍に感動！感激！感謝！～玉名荒尾中体連大会～

去る６月２９日（土）～７月４日（木）に、「令和元年度玉名荒尾中体連大会」が開催されました。それぞれの会場で、最後まで粘り強くプレイする姿や限界を超えようとチャレンジする姿が多く見られ、感動を与える素晴らしい大会となりました。大会当日は、大勢の保護者や地域の皆様に会場に駆けつけていただき、生徒たちへの熱い応援をありがとうございました。

天水中学校へ入学して部活動を決めるとき、迷わず入部した人、なかなか決まらず迷いに迷って決めた人等、様々だったと思います。しかし、選手の皆さんは、この中体連大会を目標に心を一つに頑張り続けてきました。苦しかったこと、つらかったこと等、人には言えないような努力を積み重ねてきたと思います。可能な限り、試合会場に足を運び、生徒たちの活躍する姿を目の前で感じることができました。まさに、生徒たちの活躍に感動！感激！感謝！です。その経験を、これからの人生に生かしてください。

最後に、安心メールでお知らせしたとおり、男子柔道(-66 kg級)優勝の内山慶人君(1 年)、男子ソフトテニス部の個人の部ベスト４の川崎凌英君(3 年)・池田涼真君(2 年)ペアが、県大会へコマ進めました。玉名荒尾地区の代表として、天水中の誇りを胸に、県大会でも活躍することを期待します。

メディアコントロールに取り組みましょう！

～メディアを取り上げるだけでは解決しない～

昭和の時代から語り継がれてきた「早寝・早起き・朝ごはん」は、基本的な生活習慣に関する重要なことです。平成の終わりころから、そこに「メディアコントロール」が加わりました。「メディアコントロール」とは、電子メディアに接触、利用する時間を決め、コントロールすることで生活のリズムの乱れを改善するとともに、家族とのふれあいの時間をもつことを目的としています。先日のメディアに関する講演会「スマホの向こう側」（7/13(土)：天水町公民館）をきっかけに、より具体的に、より積極的に、天水中全体でメディアコントロールに取り組みたいと思います。そして、保育園や小学校と連携しながら、地域を巻き込み、天水町にメディアコントロールのブームを作りましょう。ご協力お願いします！